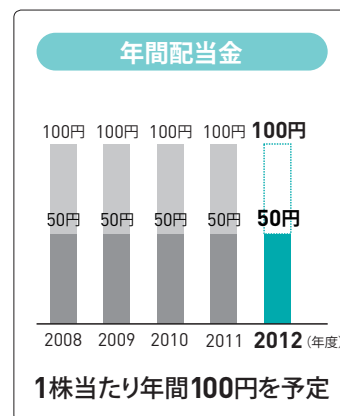
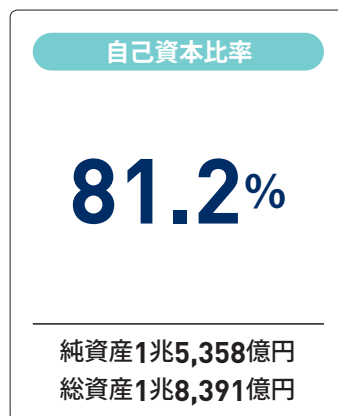
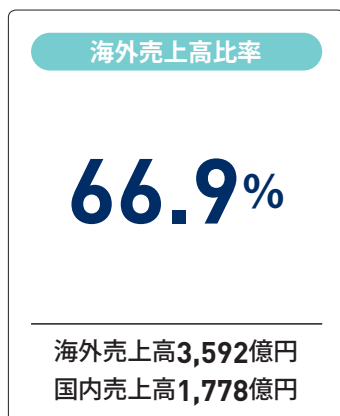
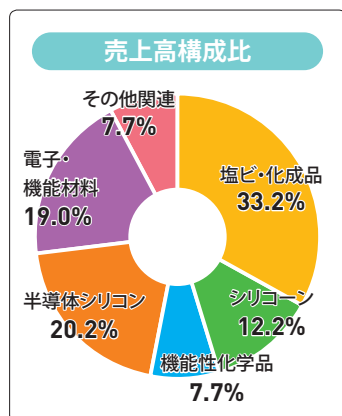
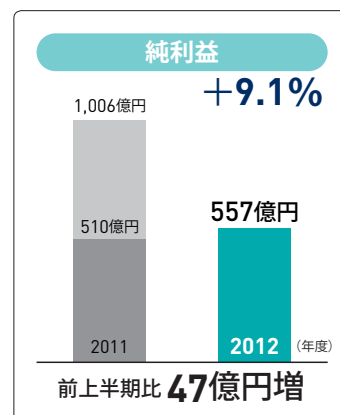
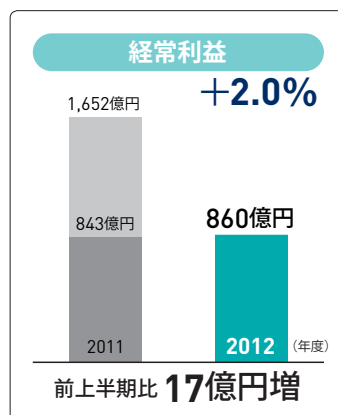
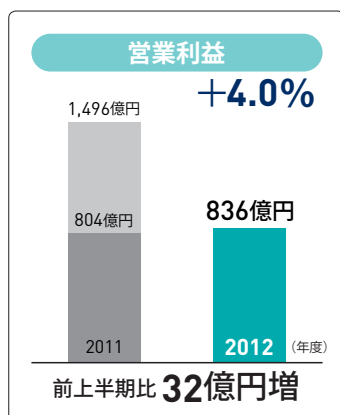
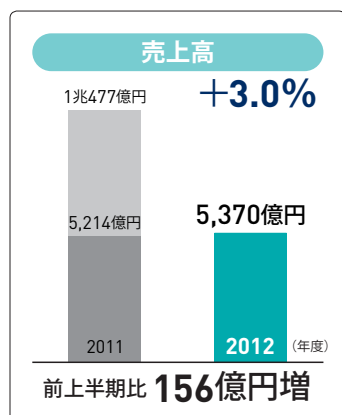


シンエツの見所

■ 上半期 ■ 通期



しんえつニュースクリップ

日経CNBCのテレビ番組で当社が取り上げられました。

ビジネス・経済専門のCS衛星放送局、日経CNBCの特集番組「企業研究シリーズ」で当社が取り上げられました。

この番組は、企業の動向や経営に焦点を当て制作されるもので、2012年9月7日に、「信越化学工業～金川経営の神髄～」として放送されました。当番組は、会長の金川のインタビューを中心に、経営哲学や、事業推進の障害となりうるリスクへの対応、成長分野への取り組みなど、さまざまな面から当社を分析した内容となっています。



※「企業研究シリーズ 信越化学工業～金川経営の神髄～」は
2013年3月まで当社のウェブサイトでご覧いただけます。
<http://www.shinetsu.co.jp/j/news/s20120910.shtml>

販売力の強化に努め、 景気の変動に強い 企業体質を確立していきます。

株主、投資家の皆さまにおかれましては、
平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当上半期の概況

当上半期（2012年4月1日～9月30日）の世界経済は、欧米では力強さを欠く展開となり、世界経済をけん引してきたアジアでも中国の景気が鈍化するなど、総じて足踏み状態が続きました。

このような環境のなかで、当社グループは当年度の経営方針である「販売先行」「積極投資」「迅速な仕事」に基づき、強い営業、強い製造、強い研究開発をさらに推進し、グループを挙げて販売力の強化と世界各地で増強中の新工場の早期戦力化に努め、景気の変動に強い企業体質の確立に注力してまいりました。

これらの取り組みにより、当上半期の業績は、連結売上高5,369億9千8百万円（対前年同期比3.0%増）、連結営業利益836億2千万円（同4.0%増）、連結経常利益860億1千6百万円（同2.0%増）、連結純利益557億円（同9.1%増）となりました。

当社は、長期的観点に立って事業収益の拡大と企業体質の強化に努め、その成果を株主の皆さまに還元するという基本方針に基づき、当上半期の配当金を1株当たり50円とさせていただきます。

主要事業の動向

塩ビ・化成品事業では、世界最大の塩ビ製造会社である米国子会社のシンテックが、世界中の顧客への拡販により、高水準の出荷を続けました。同社では、昨年夏に完成した原料からの塩ビ一貫生産を行うブラクマン第2工場（ルイジアナ州）をはじめ、テキサス州、ルイジアナ州にあるすべての工場がフル稼働を継続した結果、業績を大きく伸ばしました。

半導体シリコン事業は、高度な製造技術を生かし、継続して高品質なウエハーの開発および生産に取り組んできました。当上半期の半導体デバイス市場は、スマートフォン（高性能携帯電話）やタブレットPC向けなど堅調な用途がある一方で、パソコンや薄型テレビなどの民生機器向けが低迷した影響により、総じて厳しい状況が続きました。

電子・機能材料事業では、ハイブリッド車など自動車向けの希土類磁石が好調に推移するとともに、フォトレジスト製品、高輝度LED用パッケージ材料、光ファイバー用プリフォームなどそれぞれ順調に出荷を伸ばしました。



代表取締役会長

金川千尋



代表取締役社長

森俊三

事業基盤強化の取り組み

当社グループは、市場環境の変動や自然災害、カントリーリスクなど、事業推進の障害となりうる様々なリスクへの対応を強化しつつ、成長が見込まれる事業の拡充に向けて積極的な投資を進めています。投資先の地域としては、安定した国情と大きな市場、そして豊富なエネルギー資源を有する米国を重視しています。米国では、昨年度、シンテック社が塩ビの原料からの一貫生産体制を完成させ、生産基盤を強化したことに続き、現在ではルイジアナ州で、建材用塗料用途に需要の伸びが期待されるヒドロキシエチルセルロースの工場の新設計画を進めています。経済成長を背景に旺盛な需要のあるアジア市場では、中国において光ファイバー用プリフォーム工場、シリコンゴム工場が完成し、順次操業を開始しています。また、ベトナムでは、高輝度LED用パッケージ材料工場の建設を進めています。さらに原材料の安定確保に向けて、希土類磁石の原料工場の建設を中国およびベトナムで進め、オーストラリアでは金属珪素の生産能力を増強するなど、世界的な視点でリスク分散を行い、事業基盤の強化に取り組んでいます。

安全確保と公正な経営

当社グループは安全の確保を最優先に、公正な企業活動を基本に据えた経営を行い、社内教育を通じて従業員一人一人の安全意識の向上と遵法精神の徹底に取り組んでいます。また、内部統制システムの厳格な運用とともに、社外取締役および社外監査役に、独立した立場から経営を監督していただくなど、経営の健全性、透明性の確保に努めています。

当社グループは、収益力の向上とともに社会性を重視した企業風土の育成を通じて企業価値の最大化を追求し、これからも皆さまのご期待に応えてまいります。株主、投資家の皆さまには、なお一層のご理解、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2012年11月

代表取締役会長 金川千尋

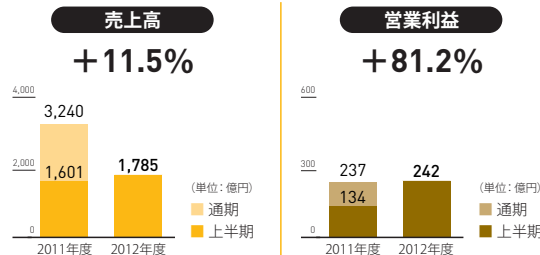
代表取締役社長 森 俊三

事業概況

塩ビ・化成品事業

- ◆ 米国シンテック社が世界中の顧客への拡販で高水準の出荷を継続し、業績を大幅に伸長
- ◆ オランダのシエツPVC社も出荷が順調に推移
- ◆ 国内塩ビは需要低迷や原料価格上昇の影響で低調

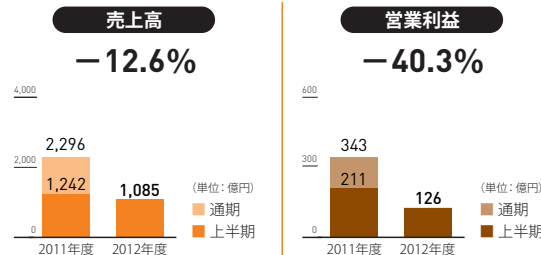
主要製品：塩化ビニル樹脂、か性ソーダ、メタノール、クロロメタン



半導体シリコン事業

- ◆ スマートフォンやタブレットPCなど先端デバイス需要は堅調も、ウエハー使用量の多いパソコン、薄型テレビなど民生機器向け需要は低調

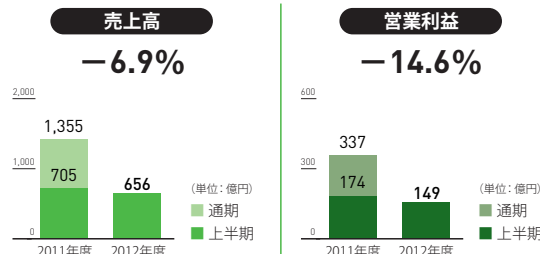
主要製品：半導体シリコン



シリコン事業

- ◆ 国内販売は自動車、化粧品向けが順調に推移するも、電気、電子機器用が総じて低調
- ◆ 海外販売は汎用品の価格が低迷

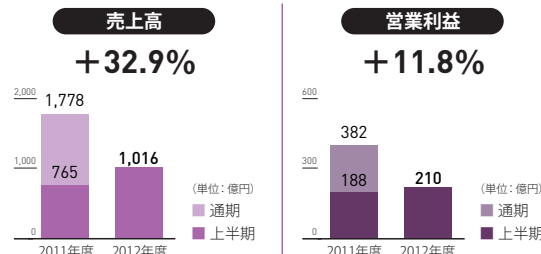
主要製品：シリコン



電子・機能材料事業

- ◆ 希土類磁石は自動車向けが好調も、省エネルギータイプのエアコン向けは低調
- ◆ フォトレジストは半導体デバイスの微細化進展で堅調
- ◆ 高輝度LED用パッケージ材料も順調に推移
- ◆ 光ファイバー用プリフォームの出荷も堅調

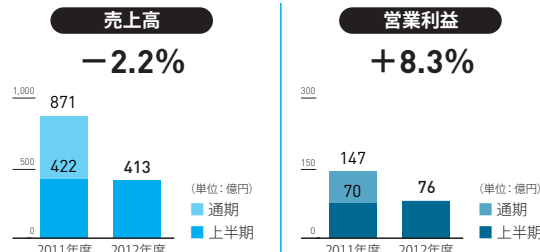
主要製品：希土類磁石（電子産業用・一般用）、半導体用封止材、LED用パッケージ材料、フォトレジスト、マスクブランクス、合成石英製品、液状フッ素エラストマー、ペリクル



機能性化学品事業

- ◆ 国内のセルロース誘導体は建材、医薬用を中心に好調
- ◆ ドイツのSEタイロース社は塗料、建材、医薬用それぞれの出荷が堅調
- ◆ 豪州のシムコア社は、金属珪素の市況悪化により収益が縮小

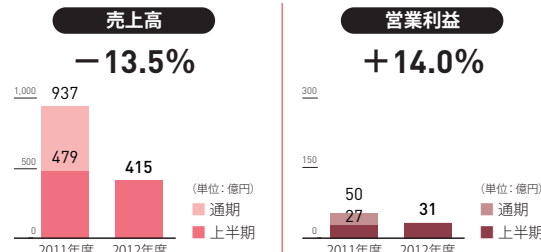
主要製品：セルロース誘導体、金属珪素、ポパール、合成性フェロモン



その他関連事業

- ◆ 信越ポリマー社の自動車用キーパッドは堅調に推移するも、半導体ウエハー関連容器は半導体デバイス需要の低迷で出荷が低調

主要製品：樹脂加工製品、技術・プラント輸出、商品の輸出入、エンジニアリング



素材のチカラ

～「塩ビ」編～

信越グループが世の中に送り出す製品は、私たちの身の回りの生活用品から最先端の技術を要する産業に至るまで、姿や形を変え、幅広い分野で使われています。

「素材のチカラ」の第一弾として、主力製品の一つである塩化ビニル樹脂（塩ビ）を取り上げ、素材の特長から用途、製品における強さについてご紹介します。

「塩ビ」とは？



塩ビは、生活用品から産業用資材全般に幅広く利用される汎用プラスチックの一つです。塩ビの原料の約6割は地球上に豊富に存在する天然塩に由来する塩素です。ほとんどの原料を石油に依存している他のプラスチックに比べて、限りある資源の節約に役立っています。

物性

- ・素材自体が燃えにくい
- ・酸化に強く、耐久性が高い
- ・耐薬品性に優れている

加工性

- ・（添加剤を加えることで）柔軟性に富んだ加工製品を作ることが可能
- ・接着性に優れ、印刷しやすい。そのため多様なデザインや意匠を凝らした加工が容易

経済性

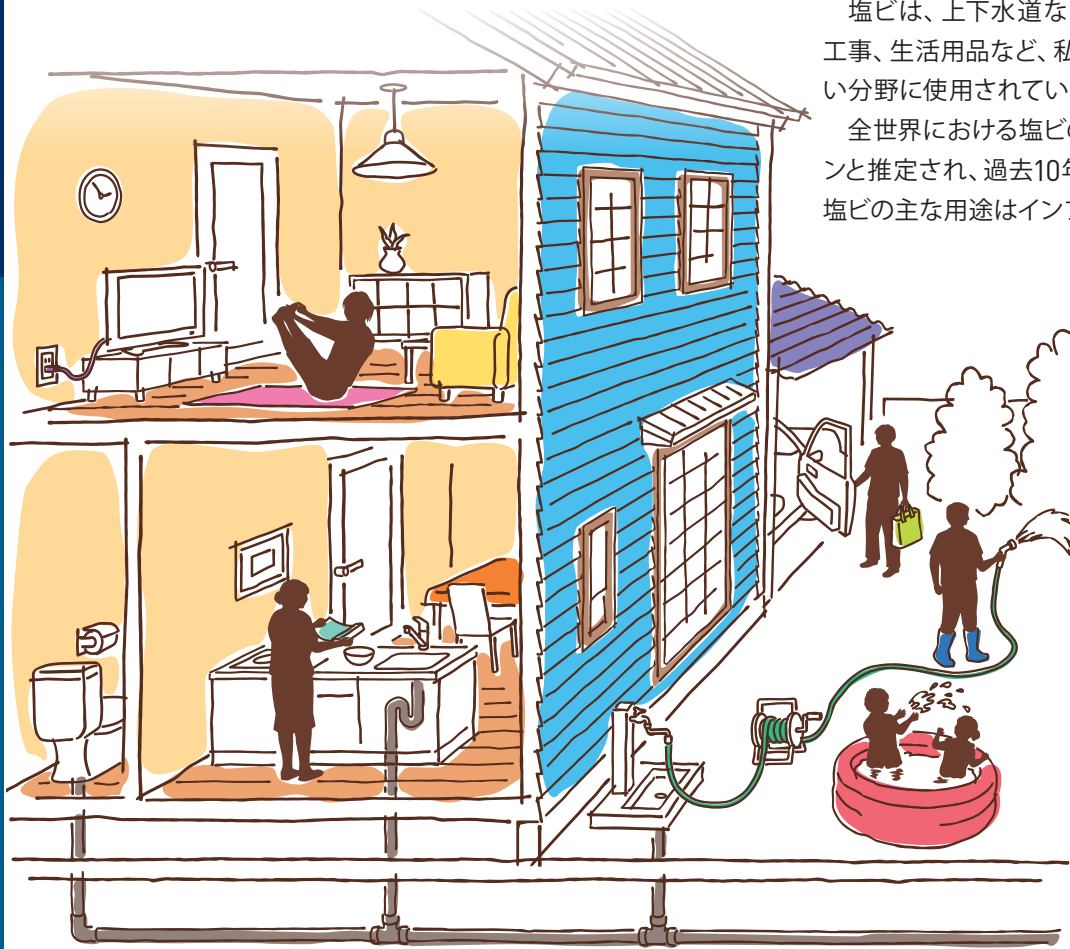
- ・石油依存度が低く省資源
- ・優れたリサイクル性
- ・他のプラスチックに比べて安価
- ・耐久性が高いため、長寿命製品の素材に適している

暮らしの中に「塩ビ」

インフラ整備から身近な生活用品まで

塩ビは、上下水道などのインフラ（公共）工事、住宅・建設工事、生活用品など、私たちが生活するうえで欠かせない幅広い分野で使用されています。

全世界における塩ビの年間使用量（2011年）は約3,600万トンと推定され、過去10年において、毎年約3%伸びてきました。塩ビの主な用途はインフラ、住宅関連で約7割を占めています。



生活用品その他用途



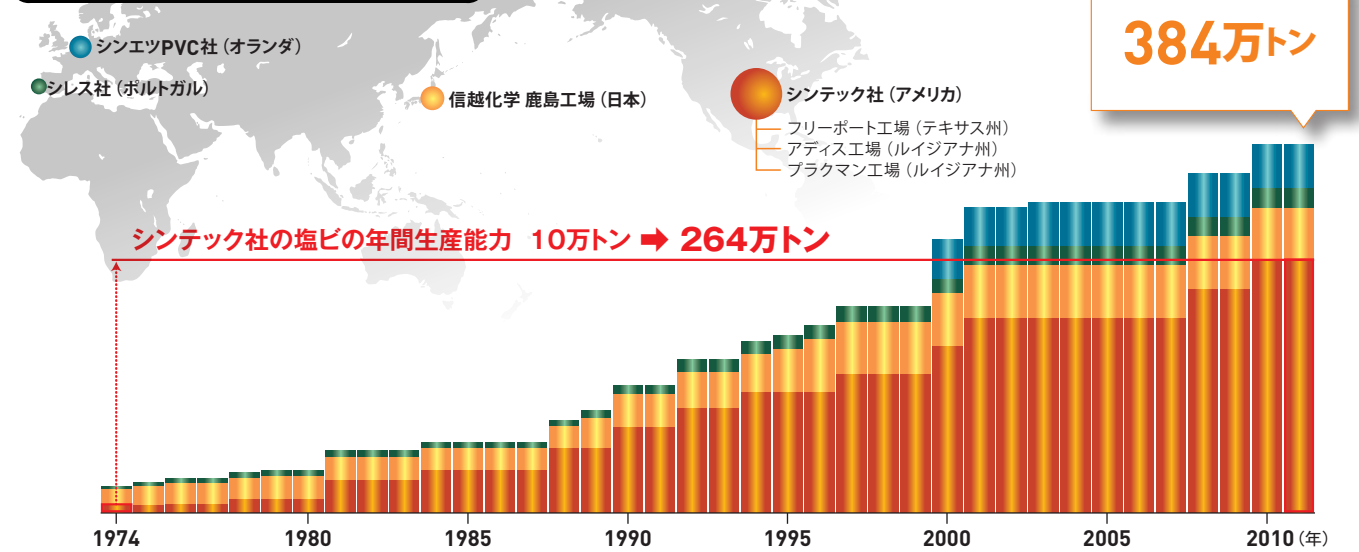
建築・住宅用途

シンエツの「塩ビ」

世界一の生産能力を有する信越グループ

信越グループでは、米国、日本、欧州の3極体制で塩ビを生産しており、その生産能力は年間384万トンにのびます。特に、塩ビ事業の中核を担う米国のシンテック社では、長年にわたり構築してきた世界中への販売網を生かした高水準の出荷を続けながら、同時に需要の動向を的確に見極めた設備投資も積み重ねてきました。現在では、操業開始時点（1974年）と比べて、26倍の264万トンまで生産能力を高め、世界の塩ビメーカーの中で、トップの地位を築いています。

信越グループの塩ビ生産体制と年間生産能力



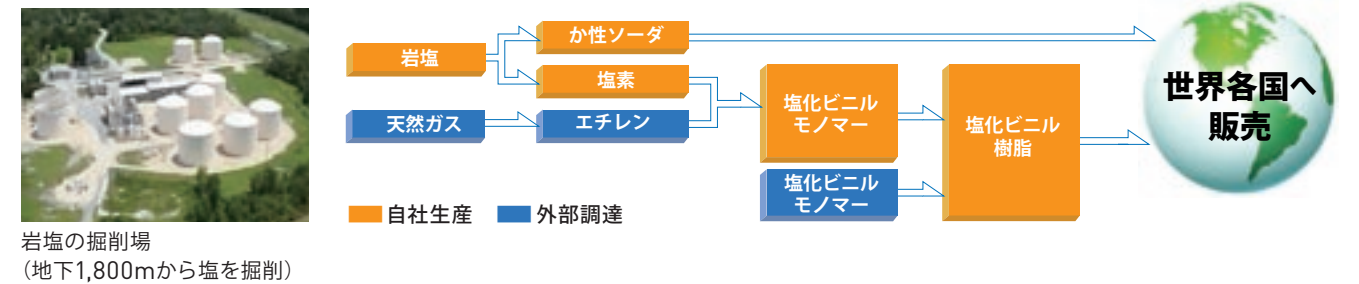
原料に遡っての一貫生産体制の強化

シンテック社は、増大する塩ビの世界需要に応えるため、原料の安定調達の強化に取り組み、2008年から2011年にかけて原料に遡っての一貫生産工場（レイジアナ州 ブラクマン工場）を完成させました。新工場では、塩ビの出発原料のひとつである岩塩の掘削から塩の精製、塩の電気分解*1と塩化ビニルモノマー（VCM）の生産を行い、VCMの内製化を大幅に進めました。

今後も岩塩や天然ガスが豊富に埋蔵されている米国での有利な立地条件を生かして、国際競争力のある原料を調達するとともに、需要動向を的確に見極めた戦略により、増大する世界需要に応えていきます。

*1 塩の電気分解により塩素と、か性ソーダが生産されます。

シンテック社の塩ビ一貫生産体制



「塩ビ」のミライ

世界で暮らしを支え続ける

1931年にドイツで初めて製造されて以来、塩ビが80年以上使われ続けてきたのは、新しい素材に代替されない有用性があるからです。

今後もインフラ整備などで、成長著しい新興国を中心にさらなる需要の伸びが期待される一方、先進国においても、省エネ意識の高まりから二酸化炭素排出削減に効果的な断熱窓枠（樹脂窓）*2の普及が進んでいます。

*2 樹脂窓：塩ビ製の窓枠。断熱、気密性に優れ、冷暖房効率が高く、省エネにより二酸化炭素削減に効果的。

会社概要 (2012年9月30日現在)

商 号：信越化学工業株式会社
 設 立：1926年9月16日
 資 本 金：119,419,688,785円
 本 社：〒100-0004
 東京都千代田区大手町
 二丁目6番1号
 電 話：03 (3246) 5091
 U R L：http://www.shinetsu.co.jp/j/
 従業員数：16,739名（連結）

役 員 (2012年9月30日現在)

代表取締役会長	金川 千尋	取締役	フランク・ピーター・ポポフ ^{*1}	常勤監査役	岡田 理
代表取締役社長	森 俊三		金子 昌資 ^{*1}	監査役	渡瀬 昌彦
代表取締役副社長	秋谷 文男		宮崎 毅 ^{*1}		福井 琢 ^{*2}
	斉藤 恭彦		福井 俊彦 ^{*1}		小坂 義人 ^{*2}
			小宮山 宏 ^{*1}		永野 紀吉 ^{*2}
代表取締役専務	小野 義昭		宮島 正紀		
常務取締役	幅田 紀一		荒井 文男		^{*1} 社外取締役
	高杉 晃司		笠原 俊幸		^{*2} 社外監査役
	石原 俊信		小根澤 英徳		
	轟 正彦		中村 健		
	秋本 俊哉		松井 幸博		
			岡本 博明		

株式の状況 (2012年9月30日現在)

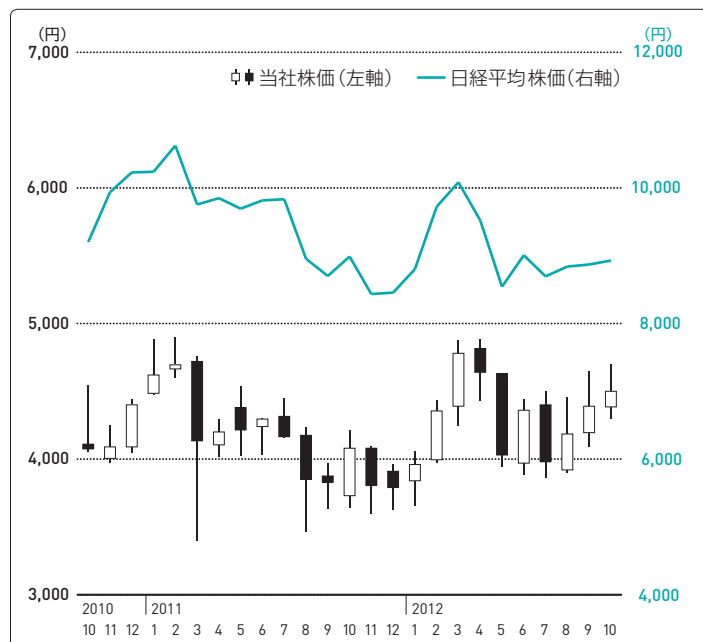
発行する株式の総数：1,720,000,000 株
 発行済株式総数：432,106,693 株
 （注）自己株式7,511,268株が含まれております。
 株主の総数：65,355 名

大株主 (千株未満は切捨表示)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	36,147	8.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	33,012	7.8
日本生命保険相互会社	24,370	5.7
株式会社八十二銀行	11,790	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4）	11,720	2.8
明治安田生命保険相互会社	10,962	2.6
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	9,492	2.2
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	7,446	1.8
メロンバンク エヌエー アズエーエージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	6,180	1.5
日本興亜損害保険株式会社	5,777	1.4

（注）当社は、自己株式7,511,268 株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株価の推移



株主メモ

事業年度：4月1日～翌年3月31日
 期末配当受領株主確定日：3月31日
 中間配当受領株主確定日：9月30日
 定 時 株 主 総 会：毎年6月
 公 告 掲 載 方 法：電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。
 （http://www.shinetsu.co.jp/j/index.shtml）
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 単 元 株 式 数：100株
 上 場 証 券 取 引 所：東京・大阪・名古屋
 株 主 名 簿 管 理 人：三菱UFJ 信託銀行株式会社
 特 別 口 座 の 管 理 機 関
 同 連 絡 先：〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-711（通話料無料）

株式に関する手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
証券会社等の口座に記録された株式	
郵送物などの発送と返戻に関するご照会	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電話 0120-232-711 （通話料無料）
払渡し期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	
上記以外のお手続き、ご照会など	口座を開設されている証券会社等 にお問い合わせください
特別口座に記録された株式	
特別口座から一般口座への振替請求	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電話 0120-232-711 （通話料無料）
単元未満株式の買取・買増請求	
住所、氏名などのご変更	
特別口座の残高照会	
配当金の受領方法の指定	
郵送物などの発送と返戻に関するご照会	
払渡し期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	